

アグリいな 第44号

アグリいな風景



水稻播種作業

4月20日に、試験栽培などに使用する182箱の播種作業を行いました。

移植したとき欠株にならないように、1枚1枚ていねいに種籾を播きました。



播き方はできるだけ均一に



関係機関の協力を得て播種作業

【水稻作付品種】

奨励品種決定調査	ふ系240号
	まいひめ
	あきたこまち
	ひとめぼれ
米のブランド化推進	天のつば
育苗箱全量施肥栽培	ひとめぼれ
優良堆肥施肥試験	あきたこまち
疎植栽培試験	ひとめぼれ
作柄概況調査	ひとめぼれ
体験農園	ヒメノモチ
福島30号の栽培技術	福島30号

今年度の水稻作付品種は以上の7品種です。



播き終わったらハウスに並べて育苗管理

町民農園 開園



奥はネギ、手前はギョウジャンニンク

4月24日に新規利用者の説明会を行い、町民農園が開園しました。3月号の「アグリいな」で利用者を募集したところ希望者が多く集まり、準備した28区画の利用者は早い時期に決定となりました。

連休を利用して苗を植えたり、種をまいたりされる方が多く見かけられ、だいぶ畑らしくなってきました。

畑が緑で覆われるのももうすぐです。

野菜作り講習会はじまる



作業の説明を熱心に聴く参加者

連休初日の5月2日に前期第1回の野菜作り講習会を開催しました。

今回はかつてない38組の参加となり、畑では子供連れで作業をする微笑ましい風景が見られました。

参加者は熱心にジャガイモとサトイモの植え付けとキャベツの定植に取り組み、予定された時間内にすべての作業を終了することができました。



参加者に配られた種芋とキャベツ苗



ちびっこもパパのお手伝い?

猪苗代湖の水環境を守る環境にやさしい農業

— 水田からの環境負荷を限りなくゼロに近づけるために —

2012年に猪苗代町八幡地区で調査した結果、水田からは粘土やシルト（粘土と砂の中間の粒径の粒子）が多く流出し（図1）、水田からの流出土壌には窒素やリンが多く含まれていることがわかりました（図2）。この調査により、水田では貴重な養分となり、猪苗代湖に流入すると富栄養化の原因物質となる窒素とリンが水田から流出している実態が明らかとなりました。

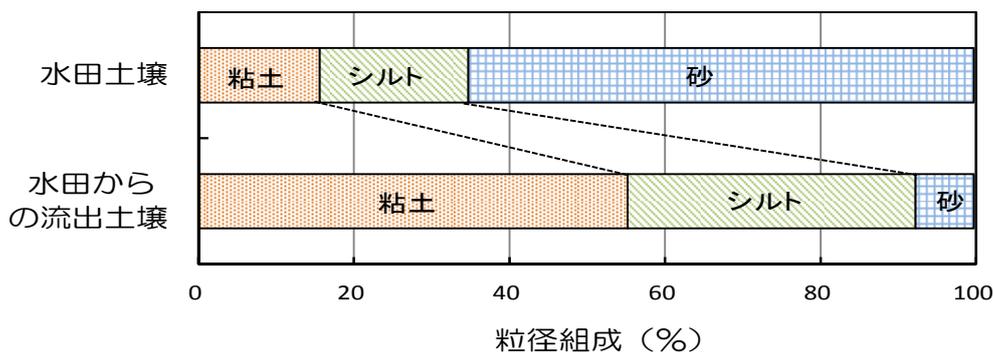


図1 水田土壌と水田から流出した土壌の粒径組成

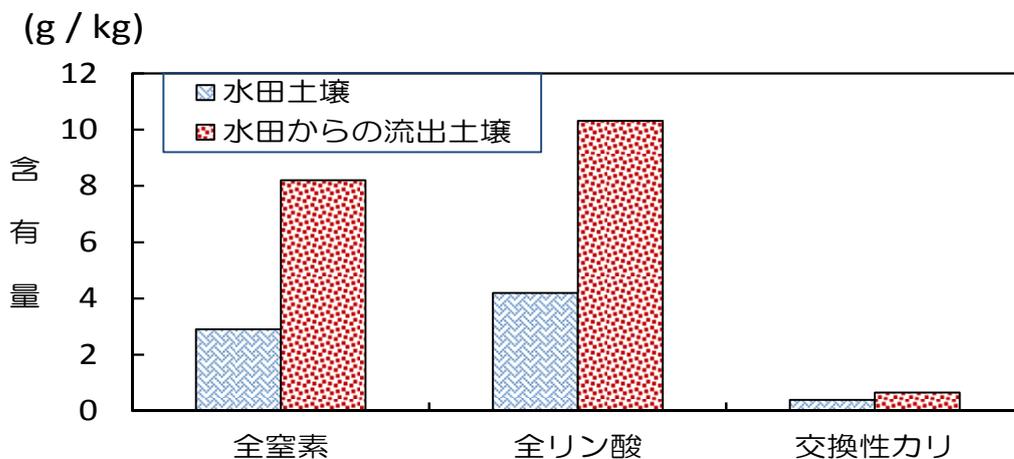


図2 水田土壌と水田から流出した土壌に含有する三要素の比較

水田から濁水を流すことは、水田の肥沃度低下にもつながります。

水田の肥沃度を維持し、猪苗代湖の水環境を守るためには、以下の技術により水田からの土壌流出を少なくすることが必要です。

- ①水尻を止めて浅水代かき
- ②代かき後の湛水深を浅く
- ③移植時の強制落水量をできるだけ少なく
(自然落水により水深が低下したところで移植するのが理想的)

トラクターなどで農作業を行った後に公道を走行する時は、タイヤ等に付いた土を取ってから走行しましょう。

経営所得安定対策等交付申請書を提出してください。

経営所得安定対策等交付申請書の取りまとめを各集落にお願いしています。交付申請書等の検収会を6月2日（火）・3日（水）に予定しておりますので、各集落の取りまとめスケジュールに沿って、必要書類を集落推進員さんに提出して下さい。詳しくは、各集落推進員、または、協議会事務局までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先：猪苗代町農業活性化協議会事務局（町農林課）：62-2116

“クマ”に注意！

春は、「クマ」が冬眠から目覚め、食べ物を求めて活発に行動する時期です。各地で「クマ」が目撃されており、本町でも「クマ」による人身事故が発生しています。

「クマ」による被害防止のため、山菜採りなどで山に入る場合は次の事項にご注意ください。

○出没状況を確認して危険な場所には近づかないでください。

（鳥獣害対策メールマガジンで情報提供しますので、町農林課にお申し込みください）

○熊鈴、ラジオなど大きな音を出して自分の存在を知らせてください。

○子グマを見たらそっと立ち去ってください。（母グマが攻撃することがあります）

※農作物などに被害があった場合は、町農林課までご連絡ください。

お問い合わせ先：猪苗代町農林課：62-2116

「未来の夢たい肥」好評発売中

○バラ堆肥（5.142円/kg）

○小袋（10kg入り：123円）

ペレット（15kg入り：185円）

JA あいづ 東部営農センターで販売中

○定休日：土・日・年末年始

○お問い合わせ先：猪苗代町優良堆肥製造施設：0242-85-8810

成分含有量等

窒素	1.1%
リン酸	1.4%
カリウム	1.6%
炭素窒素比	20
水分	約43~45%



アグリいな

（猪苗代町地域農業活性化センター）

猪苗代町坂下4527番地

TEL 0242-85-7816

（旧福島県農業試験場冷害試験地）FAX 0242-85-7836

開所日 平日 8:30~17:15

Mail agriina@oregano.ocn.ne.jp